

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月15日

事業所名 エント上福岡事業所

	子エツク項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備 業務改善	1	57%	43%	施設自体の大きさに制限があり ますがバーチャーションを使うなど してプログライバシーに配慮していま す。	
	2	70%	30%		
	3	43%	57%	個別訓練のため訓練室には 集中を妨げないように過度な 装飾はしていません。	難聴のお子さまが多い中、防音室では ありません。そのため、訓練は個別・個室で 行なっています。
	4	85%	15%	毎日の清掃はもちろん、コロナ 禍という事もあるので毎時間の アルコール消毒、換気も行っ ています。	
	5	85%	15%	職員会議で発言と意見集約 の場をしっかりと設けていき ます。	
	6	100%			
	7	100%		1年に1回公表を行なっていま す。	
	8	70%	30%		
	9	85%	15%	外部の研修に参加する機会やし やすい環境づくりは徹底して取 り組んでいます。	
	10	100%		アセスメントは時間と空間を確 保して半年に一度以上は親御さ んと面談する時間を設けてい ります。	
	11	85%	15%	言語・発達に関する標準化され た検査機器が整っております。	
	12	100%			
	13	100%			
	14	70%	30%	事例検討会などの勉強会 は都度実施しております。	
	15	100%			
	16	85%	15%		
	17	100%		ミーティングや個別での話し合 いの機会は設けています。	毎朝のミーティングで情報共有をしています。

適切な支援の提供

18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	70%	30%	職員間での情報共有は行っていない。	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	85%		無回答15%	

21	随書里相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した養もふ、さわしい者が参画している	100%			
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	85%	15%	・ケースによっては行政に繋げることもしています。	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			無回答100%	・医ケア見はいいません。・(医ケアではなく)難聴においては連携支援に参加しています。
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子ども主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			無回答100%	・(医ケア見ではなく)難聴においては医療機関と十分に情報共有しています。
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%		・書面での情報共有や出向いて助言指導を行う事があります。特にこう学校との情報交換は多く実施しています。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%			・教育現場への介入が難しく積極的な情報共有には至っていません。難聴児ということで前例がなく学校側から求められた際には介入することがあります。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%			
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	15%	85%		
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	43%	57%		・話があれば参加させて頂きますがそのような情報は得られていない為現状ではほとんど参加がない状態です。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	100%		・都度訓練のラインバックを行なっています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	70%	30%	・ペアトレとして明言はしていませんが家庭内で出来る事をアドバイスしています。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%		・ブライバシーが守られた空間で十分な時間を取りかなり丁寧にっております。	
33	児童発達支援カドランソンの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%			
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に對する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			・進路選択など時間を掛けて話すことが必要な物は「相談支援」として時間と場所を設けて行っています。
35	父母の余の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	30%	70%		・保護者同士の支援を図る場合は取って設けてはいません。・保護者同士を連携させる事へのニーズがそもそも上がってきていません。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			・電話、メールでの問い合わせが可能です。
37	定期的に会報等を行い、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%		・掲示物でお知らせをします・スピード感が必要なものはLINEで連絡をします・SNSを活用し生活の様子を発信しています	
38	個人情報の取扱いに十分注意している	57%	43%		

関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等

	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		100%	

41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%		
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	85%	15%	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	43%	57%	・食事提供はしていません。 ・アレルギー、てんかん、服薬などは成育歴シートに書いてもらっています。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	85%	15%	・契約時にお話しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。